

令和7年度
新エネ大賞



(地域共生部門)

主催：一般財団法人新エネルギー財団

尾張東部衛生組合が 新エネ大賞受賞

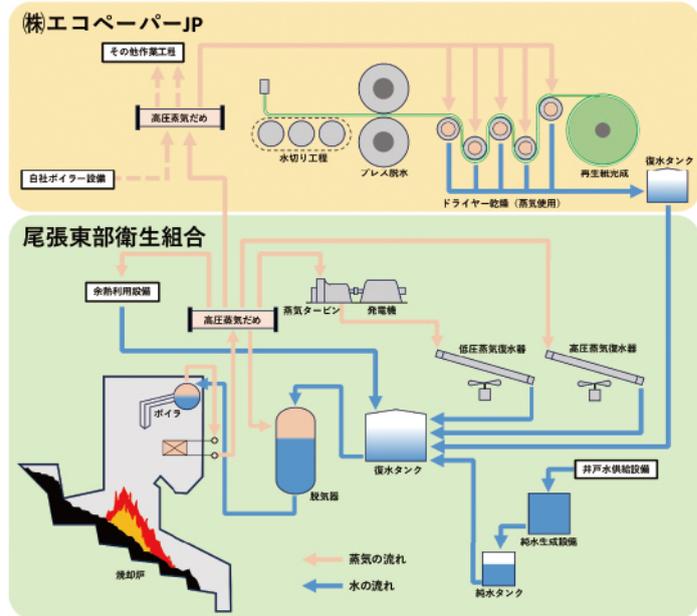
☎尾張東部衛生組合 ☎54-1643



尾張東部衛生組合(晴丘センター)は、長久手・瀬戸・尾張旭市から排出される一般廃棄物の処理を行っているごみ処理施設で、焼却時に生まれる蒸気をプラントの運転や発電等に活用しています。

さらに、施設内で利用しきれない蒸気を隣接する民間企業(株)エコペーパーJP)に売却することで、効率的なエネルギー供給、CO₂排出量削減、3市の財政負担軽減を実現しています。

本取組が評価され、(一財)新エネルギー財団主催令和7年度「新エネ大賞」地域共生部門において、新エネルギー財団会長賞を受賞しました。



👨‍⚕️ ドクター からあなたへ

飛蚊症は、視界に小さな黒い点や糸くずのようなものが見える症状のことを指します。多くの場合、加齢によって眼球の中にある硝子体しょうしゅうたいが変化し、濁りが発生することで発生します。硝子体は卵の白身のようなものですが、年齢とともに網膜と硝子体が剥がれると輪状の濁りがでてきます。その影が網膜に映り、飛蚊症となります。青い空や、白い壁をみたときに特に気になる場合が多いようです。

飛蚊症の多くは特に心配いりませんが、まれに網膜に穴が開いている場合はレーザー治療が必要になることがあります。穴が開いているだけの場合

🦟 飛蚊症

もりの眼科 荒井北斗

であれば、レーザー治療で網膜剥離もうまくはくりになることを予防できますが、既に網膜剥離になっている場合、入院して手術をする必要があります。

また、急に数が増えたり、形が変わったり、光が飛んだりする場合は特に注意が必要で、視野が欠けてみえたり、墨汁が流れてみえたりする場合も特に危険なサインとされます。これは網膜剥離や硝子体出血など、重大な目の病気のサインかもしれません。何か変化があるようでしたら、早めに眼科専門医を受診してください。